

小中高生が起業体験

ジュニアベンチャー
阿南で活動始まる



事業計画を検討しあう「ジュニアベンチャープログラム阿南」の参加者—阿南ひまわり会館

内で始まった。四十三人が七グループに分かれ、それぞれ事業計画を決定。定款や登記簿を作成し、模範法務局に届け出て、会社を設立した。今後、約一カ月間準備をして、九月二十四日に、開業する。

参加したのは阿南市や那賀郡那賀川、羽ノ浦両町の小学生十五人、中学生二十一人、高校生一人。同市富岡町北通のひまわり会館に集まり、同プログラムを企

画した投資事業組合「日本テクノロジープベンチャーパートナーズ（NTVP）」（東京都文京区、村田和孝代表）の担当者から説明を受けた後、四十八人のグループに分かれた。

各グループは、社長や会社名を決め、投資家として参加した徳島大学の学生や社会人九人（二グループ一、二人）の指導を受けながら、どのような事業を行うか検討。燃きそほやラー

メン、クレープをつくり販売するなどの事業内容を決め、仕入れ額や売り上げ目標額、収支予測を立てた。参加者は一人千円の出資金を出し合い、足りない分は投資家からの投資や模擬銀行から融資を受けた。

各グループは材料を購入するなどして準備。二十四日は市民会館前駐車場が開かれるボランティアフェスティバル阿南ブロックの「ふれあい広場」の一角で営業。収益は参加者や投資者に跳ね返る。

このプログラムは、販売体験だけでなく、実際に現金を使い利益を追求することで、会社をつくる楽しさや経済の仕組み、利益を得る際の苦労や喜びを子供たちに肌で感じてもらうのが狙い。

子供たちが起業体験をする「ジュニアベンチャープログラム阿南」(全国)阿南ブロック実行委員会主催)が、二十七日、阿南市